

平成 26 年度実施 大網白里市住民協働事業 報告書

事業名	市民活動コーディネート事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	（一社）大網白里まちづくりサポートセンター	地域づくり課

事業費	予算額	決算額	市補助金額（交付決定額）
	382,037円	379,453円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、
 ○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、
 ○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

①市民活動相談窓口を設置

・市民活動経験豊富な相談員（理事）が、NPO 法人設立、団体運営・組織づくり、ボランティア等、市民活動に関する疑問や、実践していく上での様々な問題にお答えし、解決の方策をともに考えます。また、必要に応じて現地相談も行います。

毎月 第2・4木曜日 13:30～15:30 相談窓口を設置

開設する日は、理事がローテーションで担当

相談シートを作成し、記録を残す。

相談内容によっては、一緒に活動したり、お手伝いしました。

②市民活動スキルアップ講座を開講 中央公民館にて

目的 協働への正しい認識、新たな市民活動の立ち上げ、活動のステップアップなど、それぞれの活動の充実を図る。 広報に掲載、回覧等で周知する。

・協働のまちづくり講座 講師 黒川有昌理事 7/26（土） 14名

・市民活動リーダー養成講座 講師 安藤雄太先生 9/6（土） 10名

・ファシリテーター養成講座 講師 庄嶋孝弘先生 9/28（日） 10名

・NPO運営を考える講座 講師 三澤清隆理事 10/26（日） 4名

一般受講延べ人数 38名 修了後感想を書いてもらう

参加人数は少なかったが、参加者の感想は好評でした。

③市民活動先進事例視察 1月14日（水）浦安市 市バス利用

目的 協働での市民活動が活発に行われているところ、市民センターを有効に利用されているところを実際に見学することで、市民活動への意欲がわき活動によりいっそうの磨きがかかり、市の活性化へと繋げていく。

参加者 20 名 市民活動を率先して行っている方が参加したので、質問時間が足りないくらい熱心に説明に聞き入っていた。

④まちサポスタッフのスキルアップ

- ・県で行う講座に参加

9月29日 ボランティアセンター・市民活動センター合同研修会

10月31日 地方共助社会づくり懇談会 in 千葉

11月25日 市民活動支援組織スタッフ研修

- ・「NPOのためのIT活用講座」(学芸出版社)を購入

違う視点から物事を冷静に見る事、これからの活動に役立つ情報など、研修した

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<ul style="list-style-type: none">・相談窓口設置、相談の受け付け チラシ作成、周知 相談記録を残す・市民活動スキルアップ講座の開講 チラシ作成、周知、受講生募集 講師を選定・決定・交渉 理事2名が講座を受け持ち指導する。・視察先決定・交渉・実施 チラシ作成、周知、参加者募集 市バスの申請・昼食先の手配	<ul style="list-style-type: none">・広報活動・会場提供（可能な限り）・公共施設へのチラシ、ポスターの設置・職員の協働に関する理解と意識を深める。・相談内容によって、行政も関わる様なことも考えられるので、適宜対応をする。

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p> <input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) こちらとしては、ほとんどスムーズに行う事が出来たと思う。が、視察先の交渉などは、行政に担ってもらっても良かったのではないかと感じている。 </p>	<p> <input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) </p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容 (実績) を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
<p>①市民活動相談窓口を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回 ・理事が輪番で常駐。 ・予約も受け付ける。 ・相談シートを作成・記録をとる。 ・市広報の協働通信欄に常に掲載 (地域づくり課) <p>②市民活動スキルアップ講座を開講 (7.9.10.11月に実施) 対象者 全市民・市職員・広報に掲載、回覧等で周知 (地域づくり課)・課題を抱えた団体に受講を促す。・講座全4回 (仮題・講師は予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくり講座 (7月) 講師 黒川有昌理事 ・ファシリテーター養成講座 (9月) 講師 庄嶋孝弘先生 ・市民活動リーダー養成講座 (10月) 講師 安藤雄太先生 ・NPO運営を考える講座 (11月) 講師 三澤清隆理事 <p>定員30名 中央公民館にて</p>	<p>①市民活動相談窓口を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回 ・理事が輪番で常駐。 ・市広報の協働通信欄に常に掲載 (地域づくり課) チラシを地区回覧した。 <p>相談日に関係なく、相談に来られる方の方が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日の相談 2件 ・相談日以外の相談 12件 <p>相談内容で、</p> <p>②市民活動スキルアップ講座を開講 中央公民館にて チラシを地区回覧した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくり講座 7月26日 (土) 講師 黒川有昌理事 14名 ・市民活動リーダー養成講座 9月6日 (日) 講師 安藤雄太先生 10名 ・ファシリテーター養成講座 9月28日 (日) 講師 庄嶋孝弘先生 10名 ・NPO運営を考える講座 10月26日 (日) 講師 三澤清隆理事 4名 <p>講座終了後感想を取る (回収 6枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講して良かった ・改めて、気付かされることなどあり、

講座修了後、感想などのアンケート実施、
1 講座づつ申し込み可能

③市民活動先進事例視察（8月）

対象者 市民活動に携わる方・市職員
視察先 柏・松戸・印西など、市民活動の
盛んな所（地域づくり課同行）定員40名
市バス利用（利用申請地域づくり課）

④まちサポスタッフのスキルアップ

今後に役立てることが出来た。

- ・これからも続けて欲しい

③市民活動先進事例視察 1月14日（水）

浦安市 市バス利用 20名参加

感想（回収 13枚）

・行政と市民とが一体となって業務をすす
めていること、市長と市民とが意見交換出
来る場があることなど、見習いたいことば
かり。

・行政の中心である市長と市民との連携が
うまくいかないと。まちサポが、市長と市
民団体との共有を図っていくことが大事。

・浦安市は市長公室に協働推進課を置いて
いることが、協働のまちづくりの運営が成
功しているところ。これが大きい。

・市民の声を聞くこと。行政マンが自らす
すんで、まちづくりに望み、活動に参加し
ていることなど、参考になりました。

など、皆学ぶところが多かったようです。

④まちサポスタッフのスキルアップ

県で行う講座に参加

9月29日 ボランティアセンター・市民
活動センター合同研修会

10月31日 地方共助社会づくり懇談会 in
千葉

11月25日 市民活動支援組織スタッフ研修
「NPOのためのIT活用講座」(学芸出版社)
を購入、情報発信力を学ぶ。

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 適正であった
- 概ね適正であった
- あまり適正でなかった

(理由)

視察や講座の日程が、少しずれたところはあったが、大半は計画通り出来た。講座の参加者が目標通りではなかったが、受講された方の感想は好評でした。行政職員の自主的参加があると尚良かったと思う。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

相談窓口を設置した日に利用者が少なく、曜日の設定がどうだったのか、また相談件数が少ないのは、相談がないのか、認知度が低いのかなど、新たな課題として来年度に繋がる。相談の中には、新たな活動として生まれたもの、現存の活動団体と結ばれ、その活動の幅が広がったものなど有り、相談窓口を設けたことは市民に役立てられた。

相談される側も、県の講座に参加しスキルアップしたことで、物事の考え方に幅を持つことが出来、相談の回答にも反映出来たと思う。又、「NPOのためのIT活用講座」(学芸出版社)を購入、情報発信力を学ぶ事が出来た。

市民活動スキルアップ講座のチラシを地区回覧出来たことは、新たな参加者を呼び込むことが出来、スキルアップを図ることが出来た。先進地への視察は、参加者全員が、活動への意欲の原動力と成った。また、協働のまちづくりを考える上で重要な時間となり、これからの活動に結び付けられる。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 強化、活性化した
- 概ね強化、活性化した
- あまり強化、活性化しなかった

(理由)

相談窓口の設置について、設けた事による新たな課題が見つかったのも、実施した結果であると評価し、新しい人材、活動に繋がったことなどを考えると、活性化出来た。特に、浦安への視察は、基盤の強化になった。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

【団 体】

行政職員の協働の理解が足りないように感じる。
この事業において、行政がどこを担ったかを考えると、せいぜい周知の部分だけ。
スキルアップ講座を職員の研修と考えられれば、行政職員としての協働の理解に繋がったのではないかと残念だ。市民が、行政が、と言うのでなく、大網白里市のためなのだという考え方で、この事業をとらえ、自ら参加しようとする職員もいて欲しいと思う。
市の財政で行っている事業なのだから、職員も多いに利用すべきではないか。
担当職員については、スキルアップに繋がったと思うが、担当が出られないときは、代わりの職員を出させる必要もあるのではないか。こちらに任せきりになるのはどんなものだろうか。市民側は、行政と共に行う事を希望し、必要性も感じている。

【市（関係課）】

定期的な相談窓口を設置し、市民活動を始める際や活動を継続していく上で生じる様々な課題・問題に対し、いつでも気軽に相談できる窓口を周知することができた。相談は団体に限らず、活動への参加相談や団体設立に関する事など、これから市民活動を行う市民個人に対しても行う必要があるため、今後も中間支援組織としてのまちサポの役割を市民、市民活動団体へ周知し、さらなる相談の掘り起しに積極的に努めていただきたい。

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>（理由）</p> <p>地区回覧を行った事へは評価するが、職員の参加が少なく、協働での効果は薄かったのではないかと。</p>	<p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>（理由）</p>